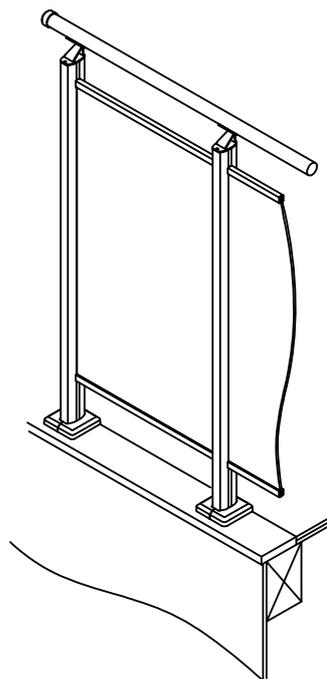
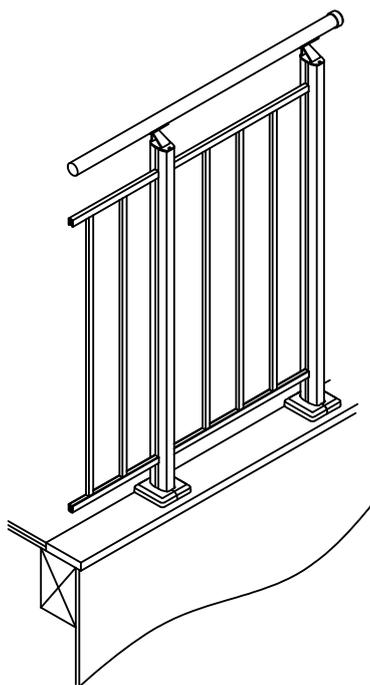
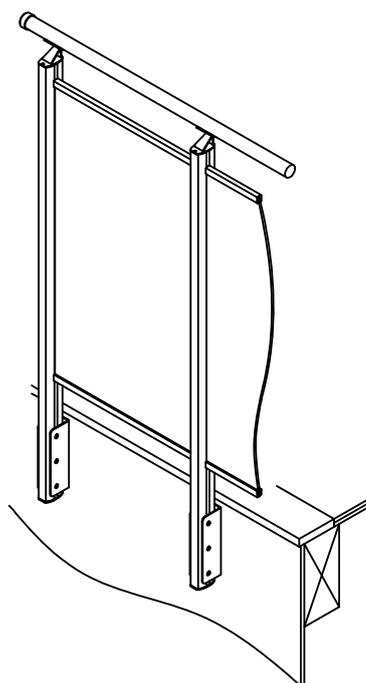
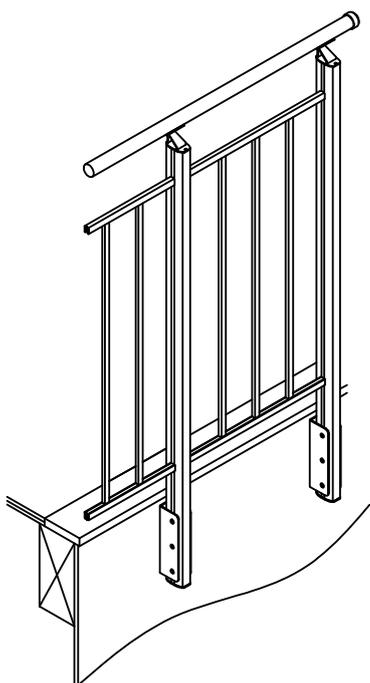


# アルミ水平手摺 F i S 施工手順書

この施工手順書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い・施工方法を示しています。  
この施工手順書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全に取付けてください。



安全に施工していただくためにお読みください。

## 絵表示について

この施工手順書は、製品を安全に正しく施工していただき、施工者、使用者、他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、次のような絵表示を示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

## 施工前



注意

- 壁や床の施工が完了していることを確認してください。(後付けタイプです)
- 設計図書に基づいて手摺の配置および納まりを確認してください。
- 取付ける躯体がコーチスクリューを充分固定できる強度を有しているか確認してください。(強度が無い場合は躯体補強材を入れてください)
- 周辺の室内養生を充分行ってから施工してください。
- 搬入経路を確保してください。

- 開梱時に構成部品の内容と数量を確認してください。
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、または、部品が不足している場合は、販売店もしくは新日軽株式会社 までご連絡ください。



- 商品を投げたり、落としたりしないでください。破損や変形、傷の原因になります。
- 商品を踏みついたり、重い物を上に置かないでください。破損や変形、傷の原因になります。

## 施工時



注意

- 専門業者により二人以上で取り付けてください。
- 転落等に注意して、安全に心がけて作業をしてください。
- 商品や部品等の落下に充分注意してください。また、投げ渡したり、踏んだりしないでください。人への危害や室内の損傷、および商品や部品の破損、変形の原因になります。
- ボルトやネジ類の止め箇所は、指定の工具で全て確実に止めてください。



- 指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- 手摺以外への転用や、改造は行わないでください。

## 施工後



注意

- 施工完了後、ネジ類にゆるみやガタツキ、および使用上の不具合や危険な個所等はないか確認してください。また、商品に傷や、ヘコミ等がないか確認してください。
- 引渡し前に商品にゴミや異物の付着等がないことを確認し、清掃を行ってください。



- 手摺りで遊んだり、ぶら下がったりしないでください。
- 手摺りに物を掛けたり、ぶら下げたりしないでください。
- ボルトやネジ類を取り外さないでください。
- 分解や改造、仕様変更は絶対しないでください。

パネル「アクリル板」(面材)はガラスに比べ、傷や擦れ、汚れなどが付きやすい材料です。取り扱いには充分注意してください。

## 使用工具・用具

電動ドリル



ドリル刃

φ2.8  
φ6.5



インパクトドライバー



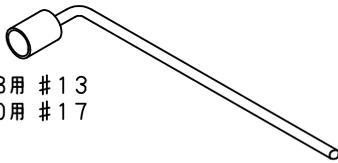
ボックス

M8用 #13

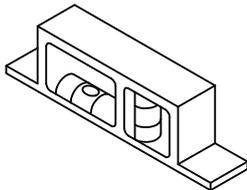


ボックスレンチ

M 8用 #13  
M10用 #17

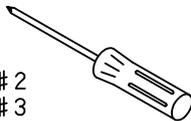


水準器

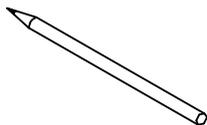


プラスドライバー

M4・M5 #2  
M6 #3



鉛筆



切断機

手摺を規格寸法より縮める場合、以下のものを切断する道具をご用意下さい。

- ・手摺(木)
- ・パネル(アクリル板)
- ・格子(アルミ)

その他、必要に応じて工具や用具等を用意してください

## 目次

部品構成(1)

全体構成図

推奨納まり詳細図

1. 側付ブラケットの取付

2. 床置きブラケットの取付

3. 側付支柱の取付

4. 床置き支柱の取付

5. 格子の取付

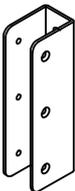
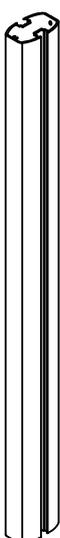
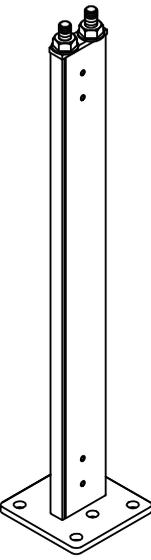
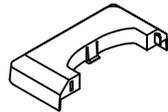
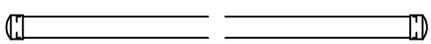
6. パネルの取付

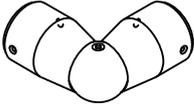
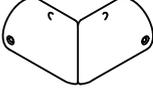
7. 手摺の取付

8. 現場での材料カット方法

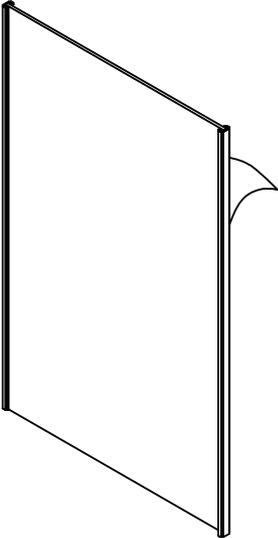
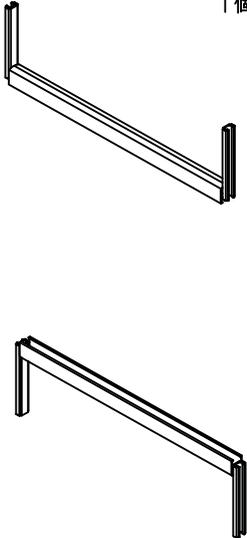
9. アルミ製トップレールの取付  
(オプション)

部品構成 ( 1 )

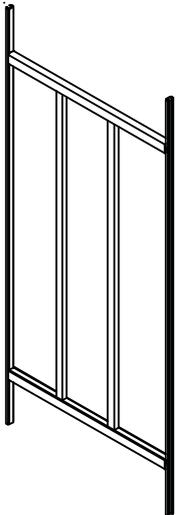
側付けタイプ形状	使用する部品	
 <p>側付け用支柱                      ・端部 L                      ・端部 R                      ・中間</p>  <p>ブラケット</p>	<p>■ コーチスクリュー・ワッシャー  <math>\phi 8 \times 90</math>                      3組/左図形状 </p> <p>■ 皿小ネジ  <math>M6 \times 12</math>                      6個/左図形状 </p>	
床置きタイプ形状	使用する部品	
 <p>床置き用支柱                      ・端部 L                      ・端部 R                      ・中間</p>  <p>手摺支柱補強材・台座セット</p>	<p>■ コーチスクリュー・ワッシャー  <math>\phi 8 \times 90</math>                      3組/左図形状 </p> <p>■ 皿小ネジ  <math>M5 \times 12</math>                      4個/左図形状 </p> <p>■ 支柱カバー                      2個/左図形状 </p>	
名称および個数/1SET	形状	使用する部品
<p>■ トップレール受け                      個数：段数によって変化</p>		<p>■ 皿テクスビス  <math>M4 \times 25</math>                      1個/左図形状 </p> <p>■ 皿小ビス  <math>M4 \times 10</math>                      1個/左図形状 </p>
<p>■ 手摺・エンドキャップ                      個数：仕様によって変化</p>		<p>■ 丸皿木ネジ  <math>\phi 3.5 \times 20</math>                      2個/手摺受け1個 </p>

名称および個数／1SET	形状	使用する部品
<p>■ 自在ジョイント 個数：形状によって変化</p>	 <p>φ40用</p>  <p>φ35用</p>	<p>■ 皿小ビス M4×10 4個／左図形状</p> 

パネル面材部品

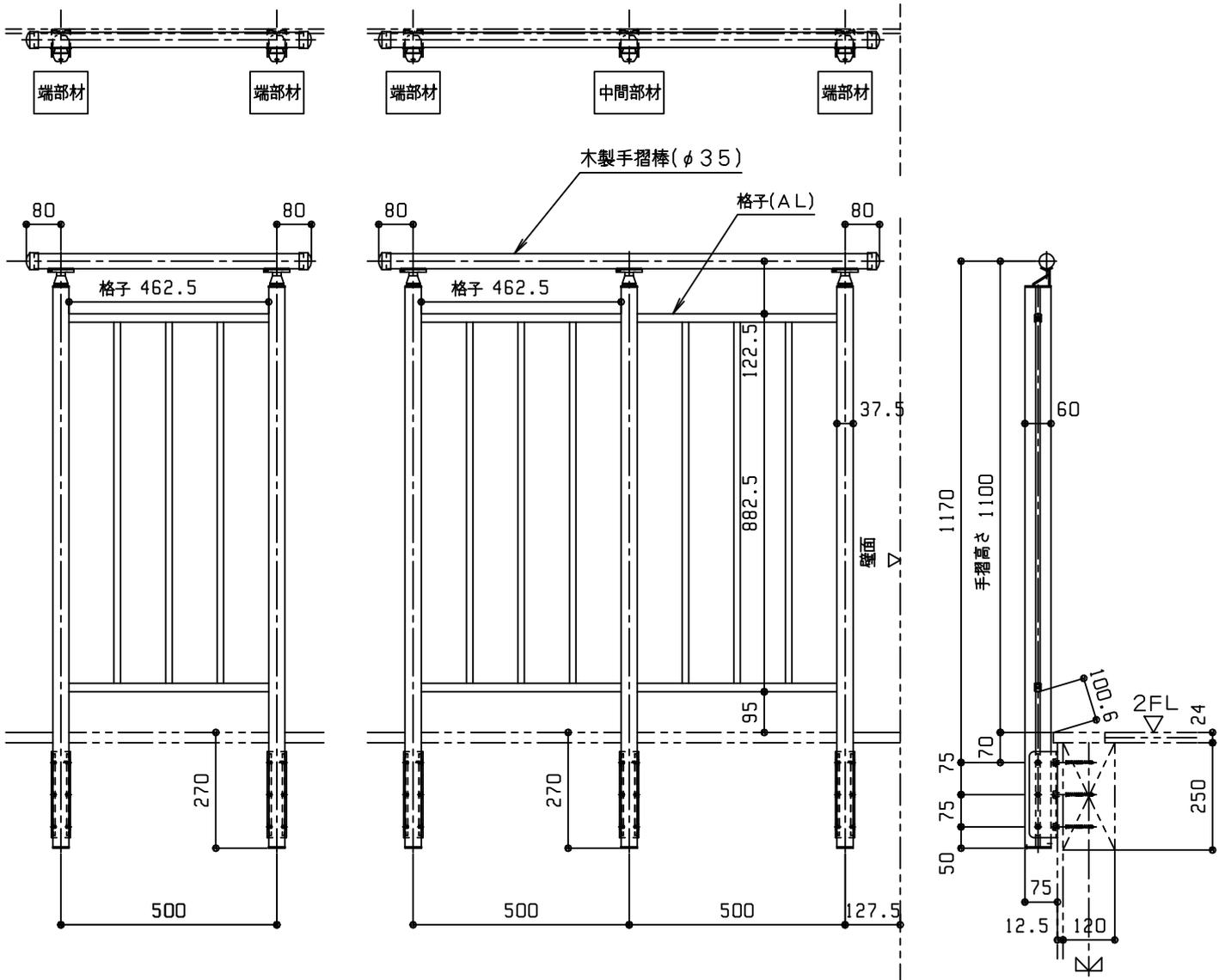
 <p>パネル面材・アタッチ材セット (片面マット仕様)</p>	<p>■ 皿テクスビス M4×25 1個／左図形状</p>   <p>パネル用横棧セット</p>
--	--

格子材部品

 <p>格子用アタッチ材・格子セット</p>
---

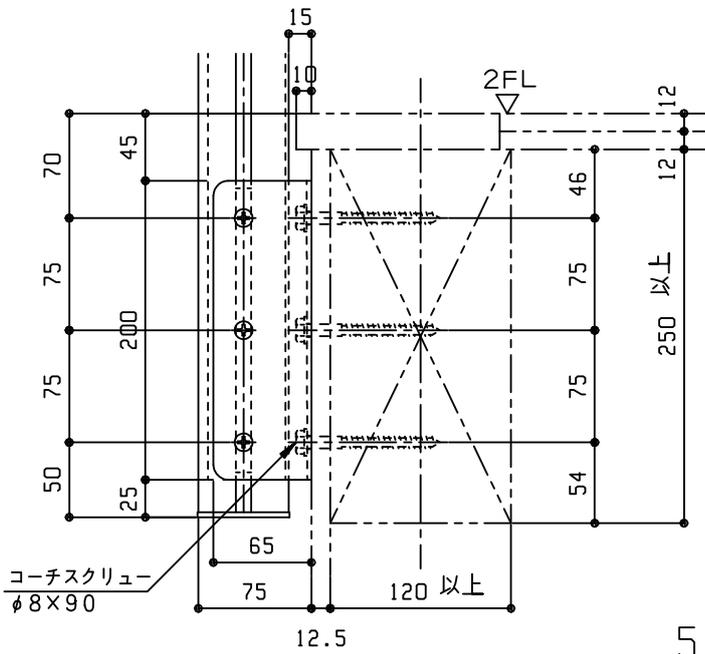
# 手摺構成図

側付・格子タイプ

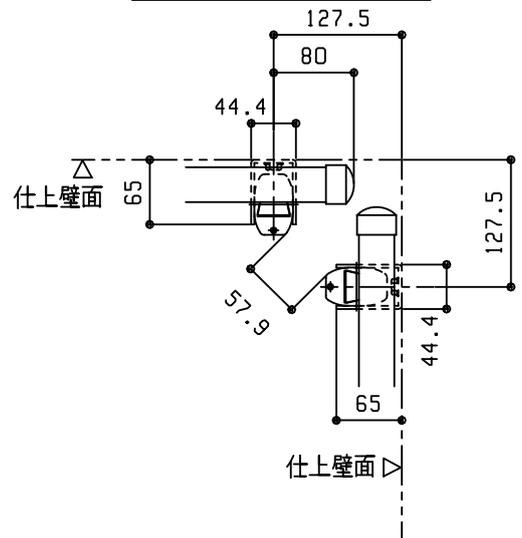


**注意** 1スパンの最大寸法(支柱芯々)は、500mmです。  
 スパンの長さ調整は現場で必要に応じてカットして下さい。

## 側付部推奨納まり詳細図

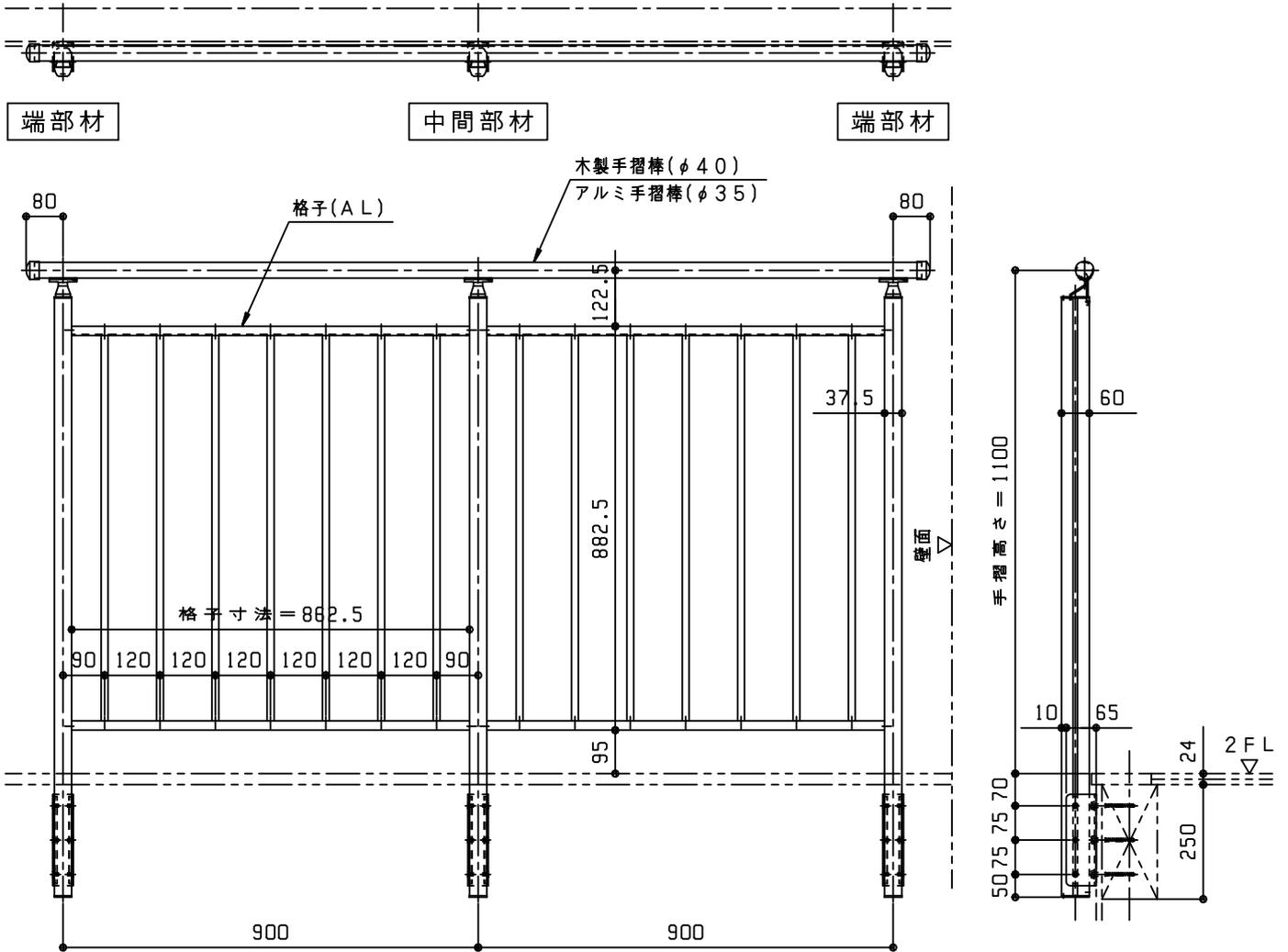


## コーナー部納まり寸法

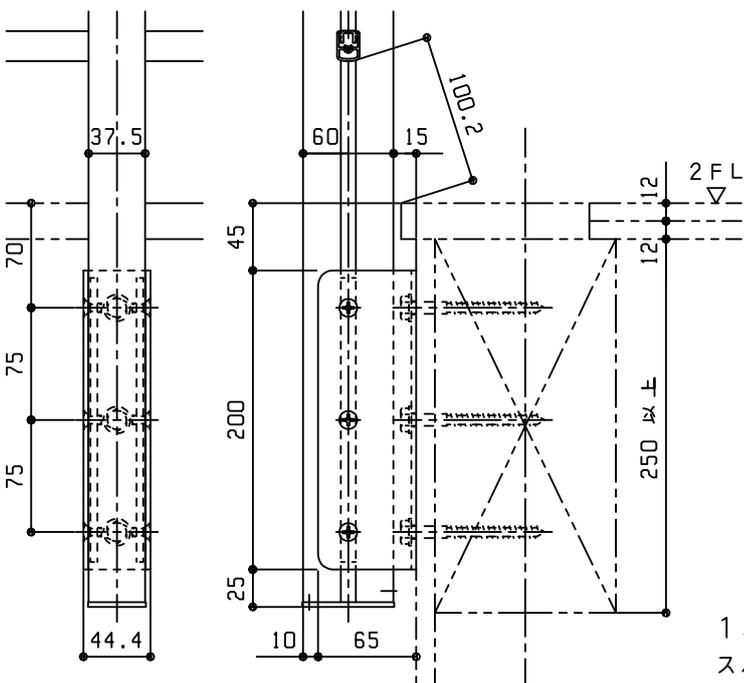


# 手摺構成図

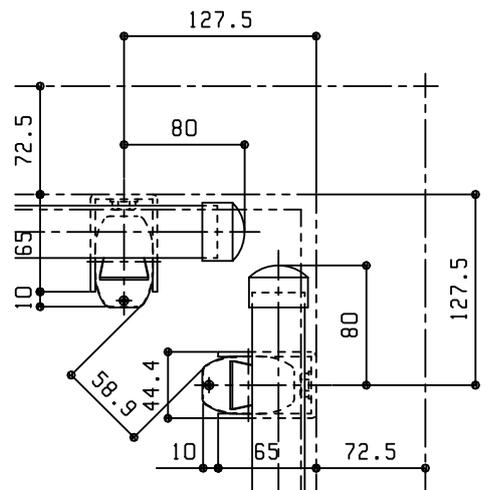
側付・格子タイプ



側付部推奨納まり詳細図

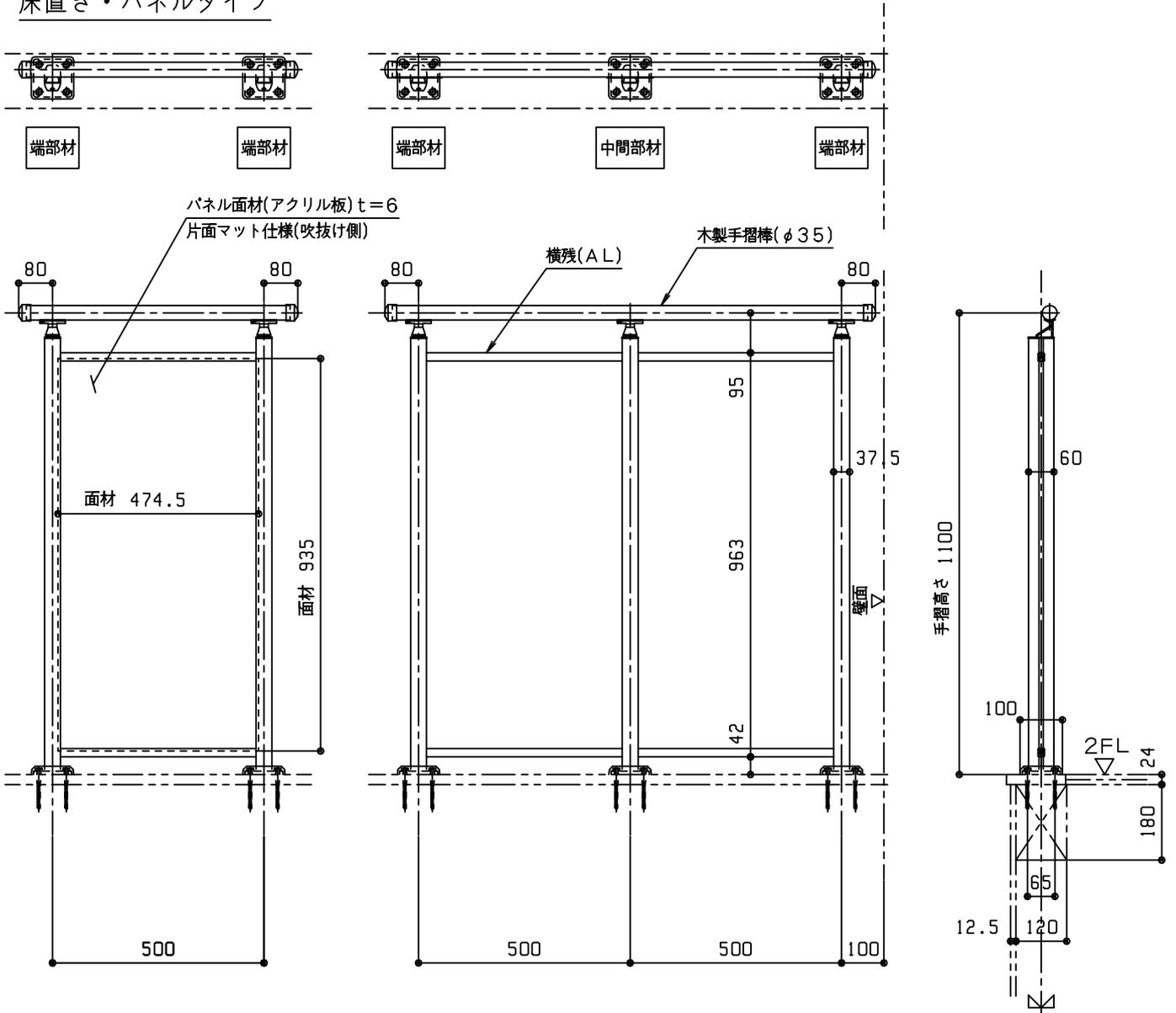


コーナ一部納まり寸法



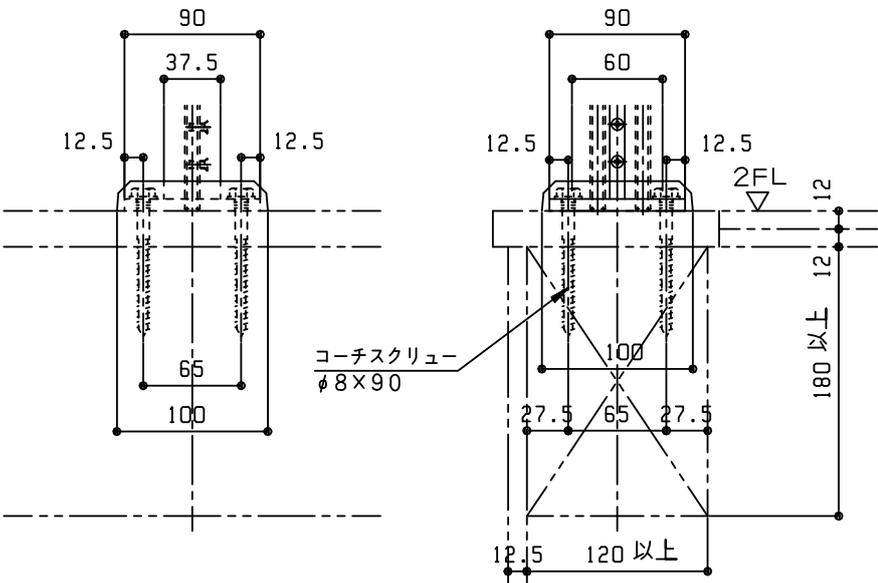
1スパンの最大寸法(支柱芯々)は、900mmです。  
スパンの長さ調整は現場が必要に応じてカットして下さい。

床置き・パネルタイプ

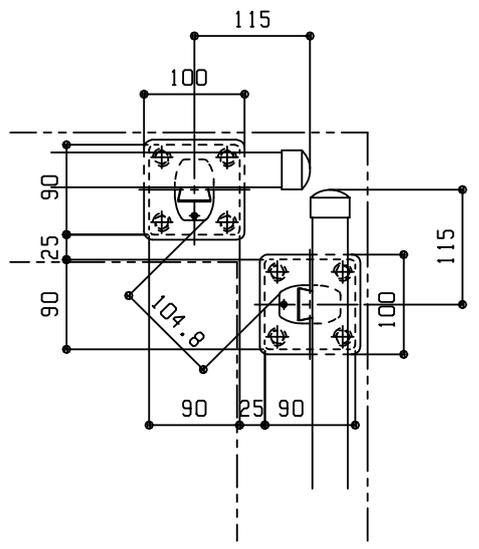


**注意** 1スパンの最大寸法(支柱芯々)は、500mmです。  
 スパンの長さ調整は現場で必要に応じてカットして下さい。

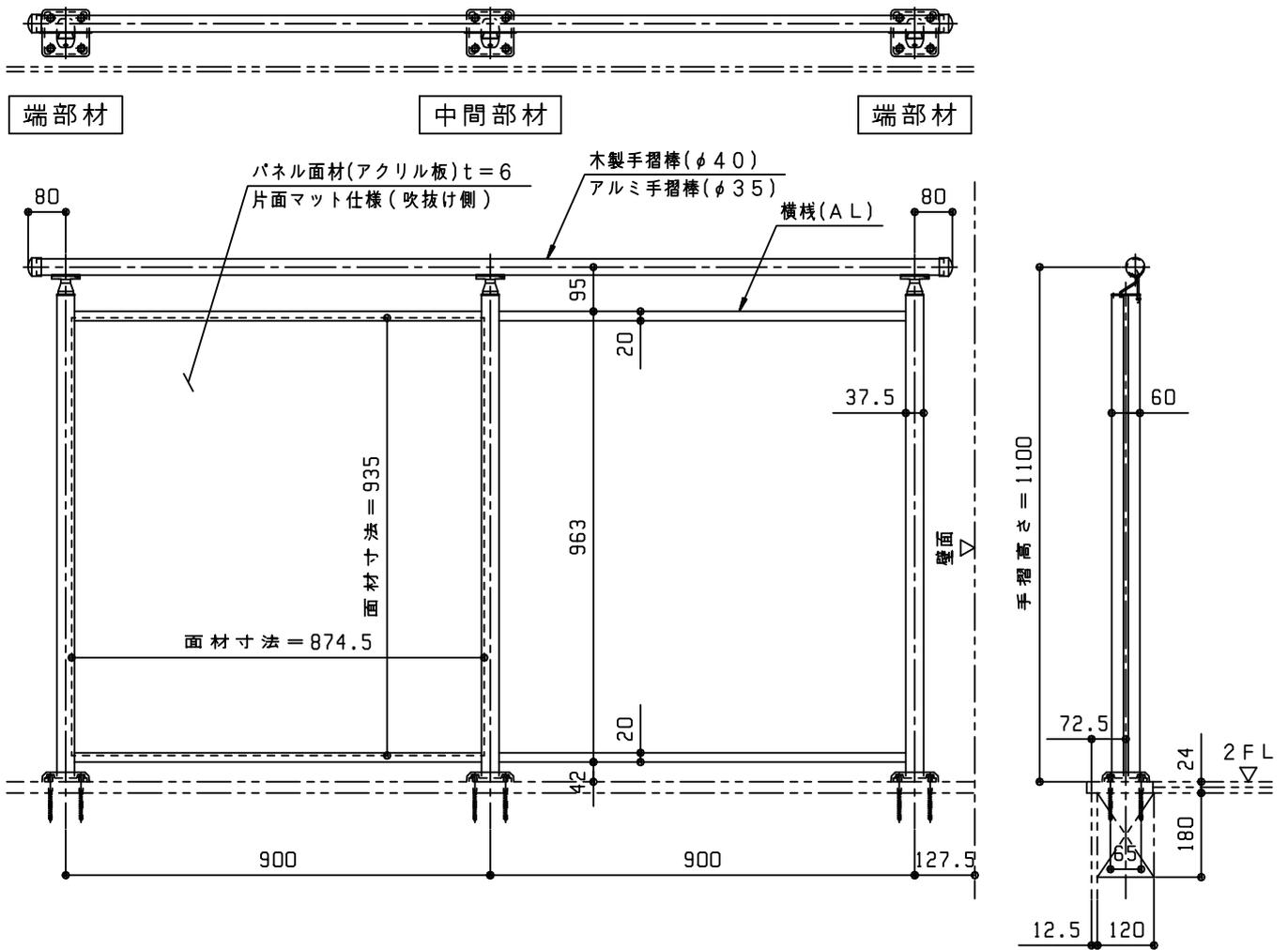
床置き部推奨納まり詳細図



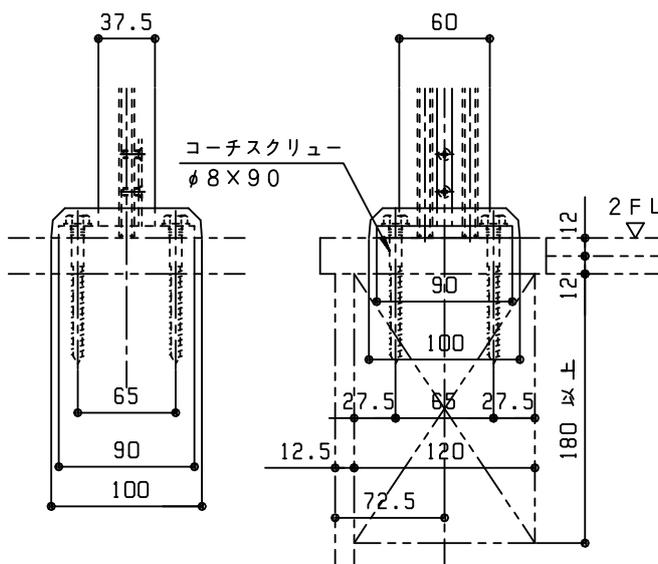
コーナー部納まり寸法



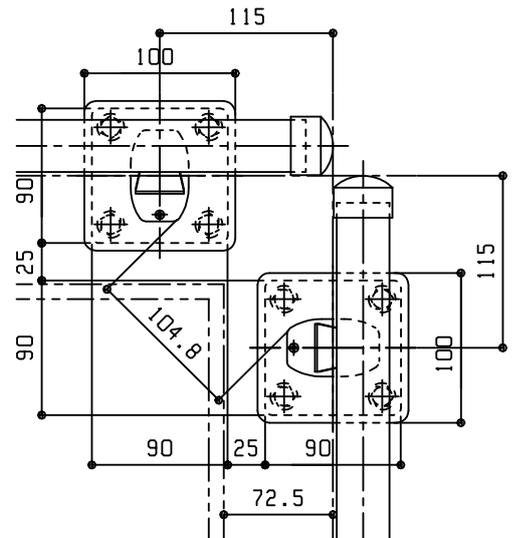
床置き・パネルタイプ



■ 床置部推奨納まり詳細図



■ コーナー部納まり寸法



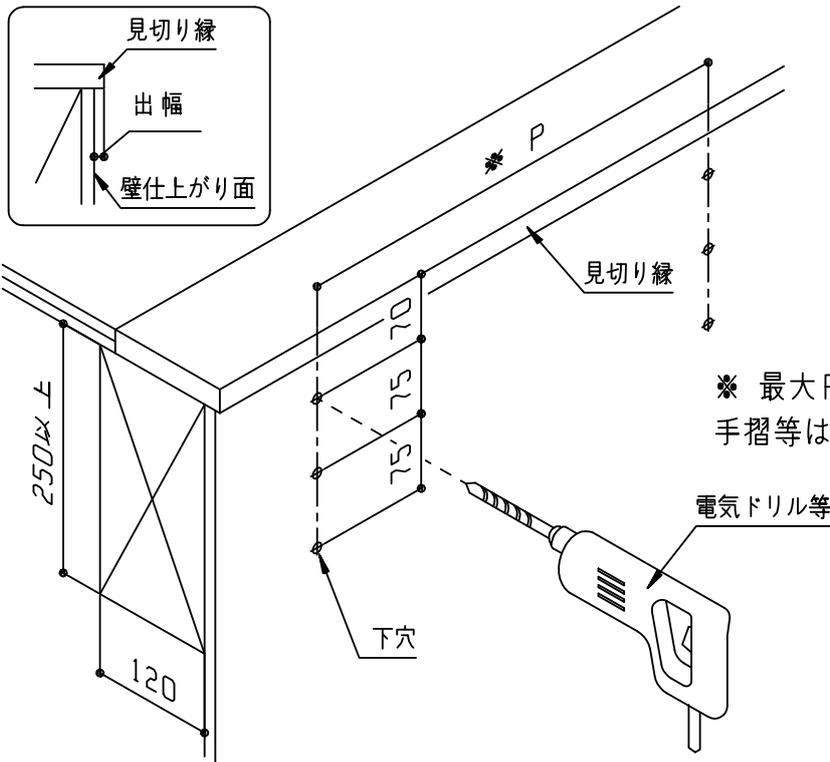
1スパンの最大寸法(支柱芯々)は、900mmです。  
スパンの長さ調整は現場で必要に応じてカットして下さい。

# 1. 側付ブラケットの取付

1. ブラケットを取付けるための下穴用墨出しをします。
2. 見切り縁上端より70→75→75の位置に下穴φ6.5×70をあけて下さい。

## 注意

- ・コーチスクリューφ8×90の固定に十分な強度を確保できる躯体であるか確認して下さい。
- ・見切り縁と壁仕上がり面との出幅を確認して下さい。出幅が15mmを超えていると支柱が取付きません。

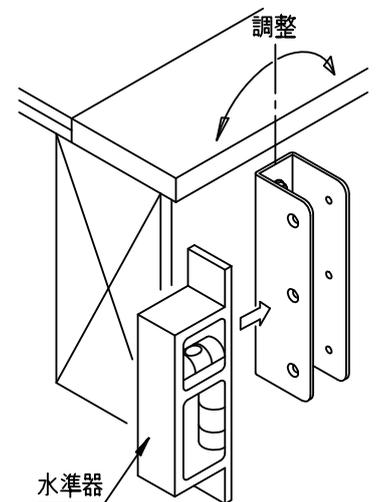
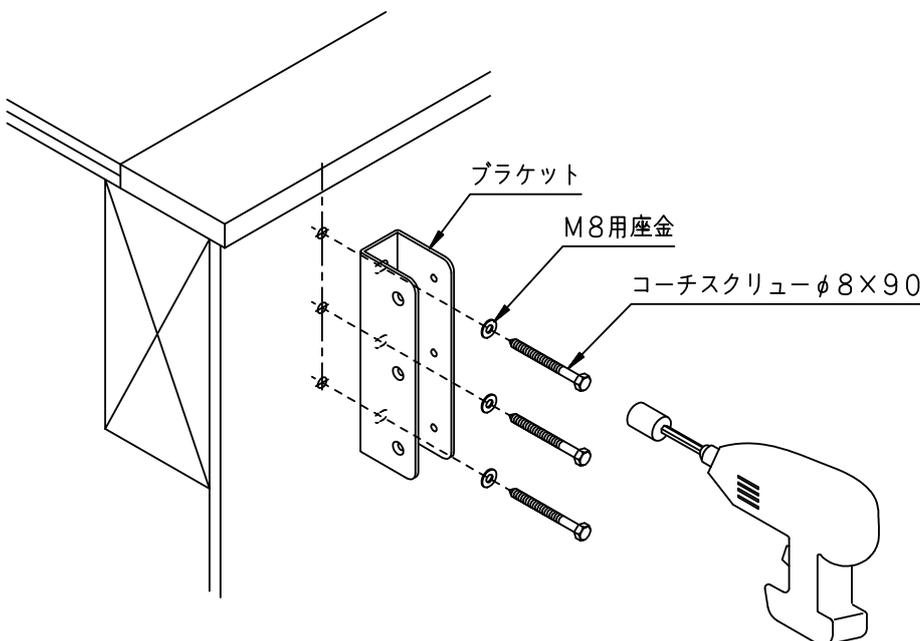


使用工具
電動ドリル
ドリル刃φ6.5

※ 最大P寸法は500mm又は900mmです。手摺等は現場で必要に応じてカットして下さい。

3. ブラケットをコーチスクリューφ8×90で取付けます。
4. ブラケットが垂直についていることを水準器等を使用して確認して下さい。垂直が出ていない場合は調整をして下さい。

使用工具
インパクトドライバー
M8用ボックス

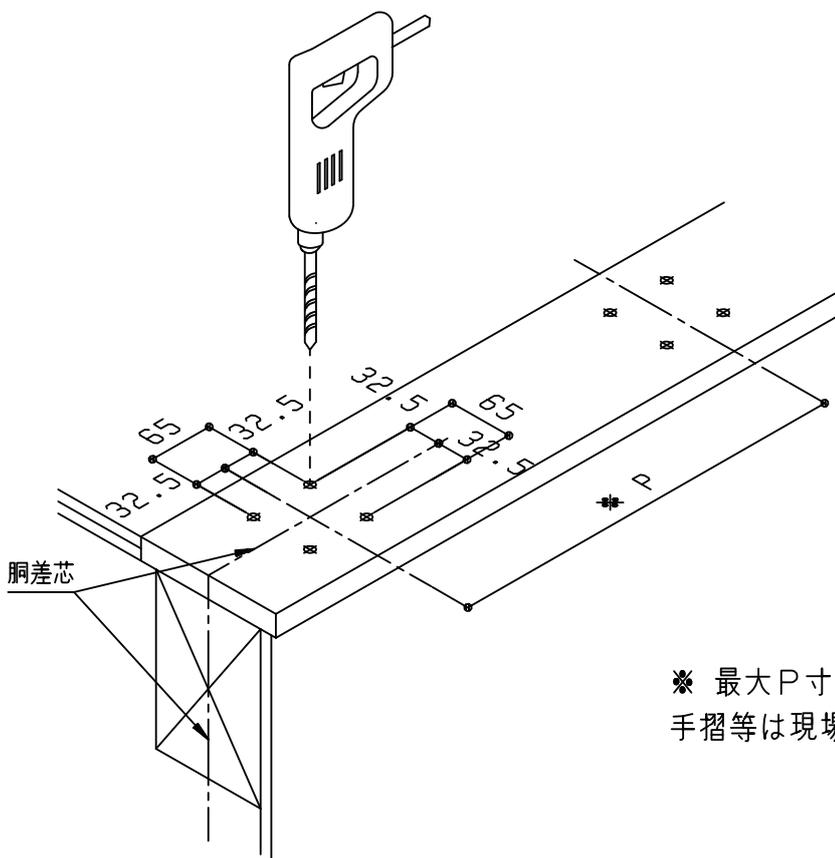


## 2. 床置き台座の取付用下穴あけ

1. 胴差芯に合わせてブラケットを取付けるための下穴用墨出しをします。
2. 下穴 $\phi 6.5 \times 70$ をあけて下さい。

### 注意

- ・コーチスクリュー $\phi 8 \times 90$ の固定に十分な強度を確保できる躯体であるか確認して下さい。



使用工具
電動ドリル
ドリル刃 $\phi 6.5$

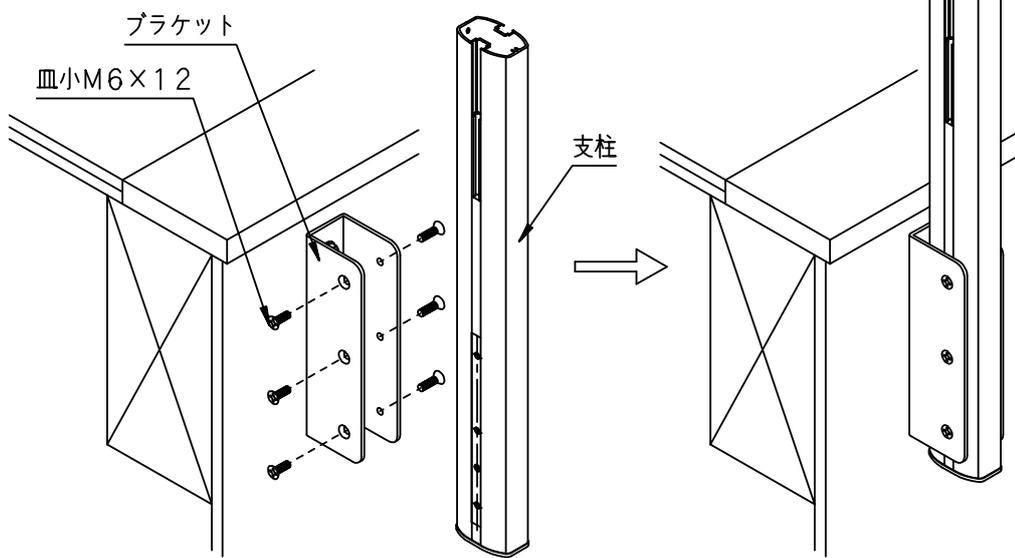
※ 最大P寸法は500mm又は900mmです。  
手摺等は現場で必要に応じてカットして下さい。

### 3. 側付支柱の取付

1. 支柱をブラケットに皿小M6×12で取付けます。

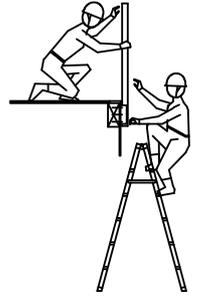
使用工具

プラスドライバー #3

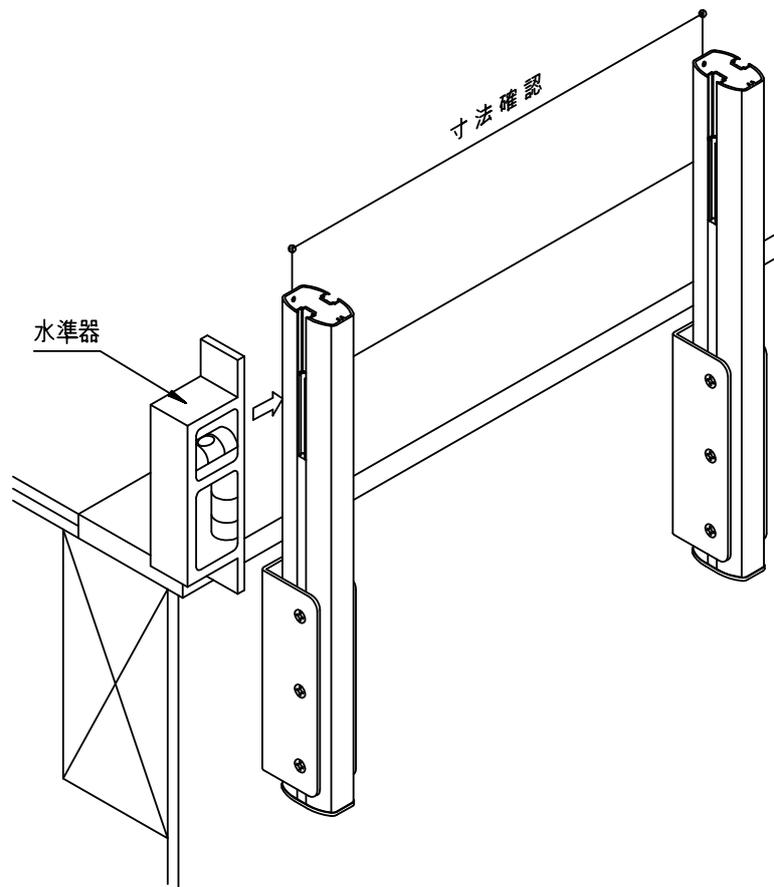


⚠ 注意

取付けは2人作業で行ってください。



2. 支柱取付け後、再度、支柱の垂直確認と支柱ピッチ寸法の確認をして下さい。



## 4. 床置き支柱の取付

1. 手摺支柱補強材・台座セットをコーチスクリューφ8×90で取付けます。

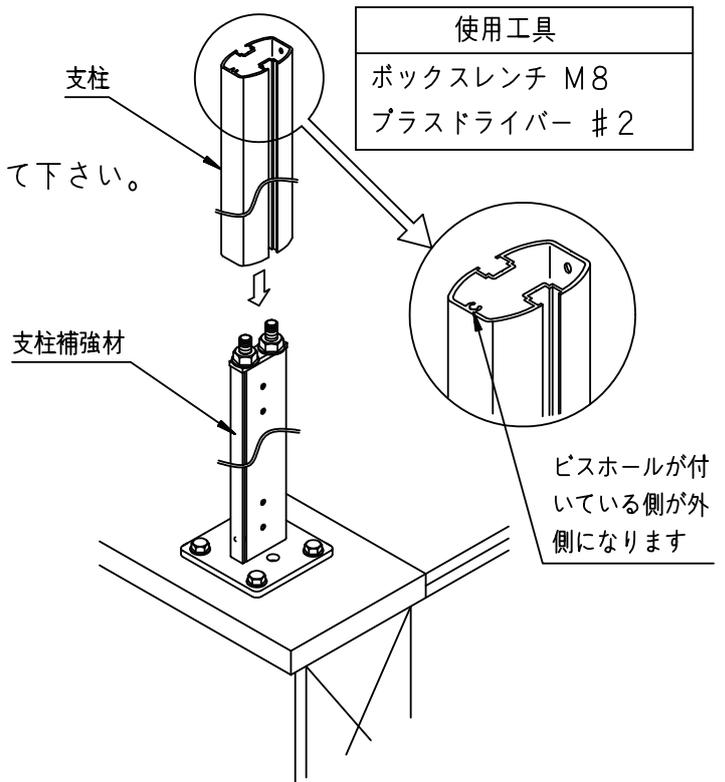
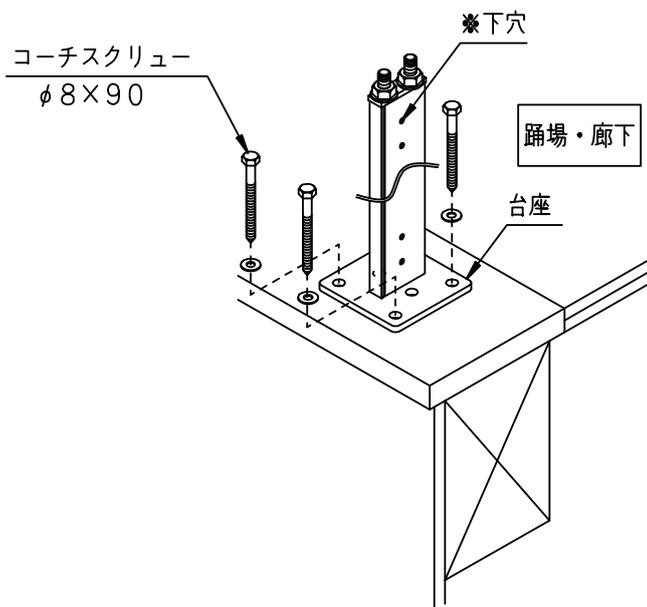
※手摺支柱補強材の向きは下穴が踊場・廊下側から手摺を見て左側にくるようにして下さい。

2. 支柱を支柱補強材に差込みます。

※支柱の向きに注意して下さい。

### 注意

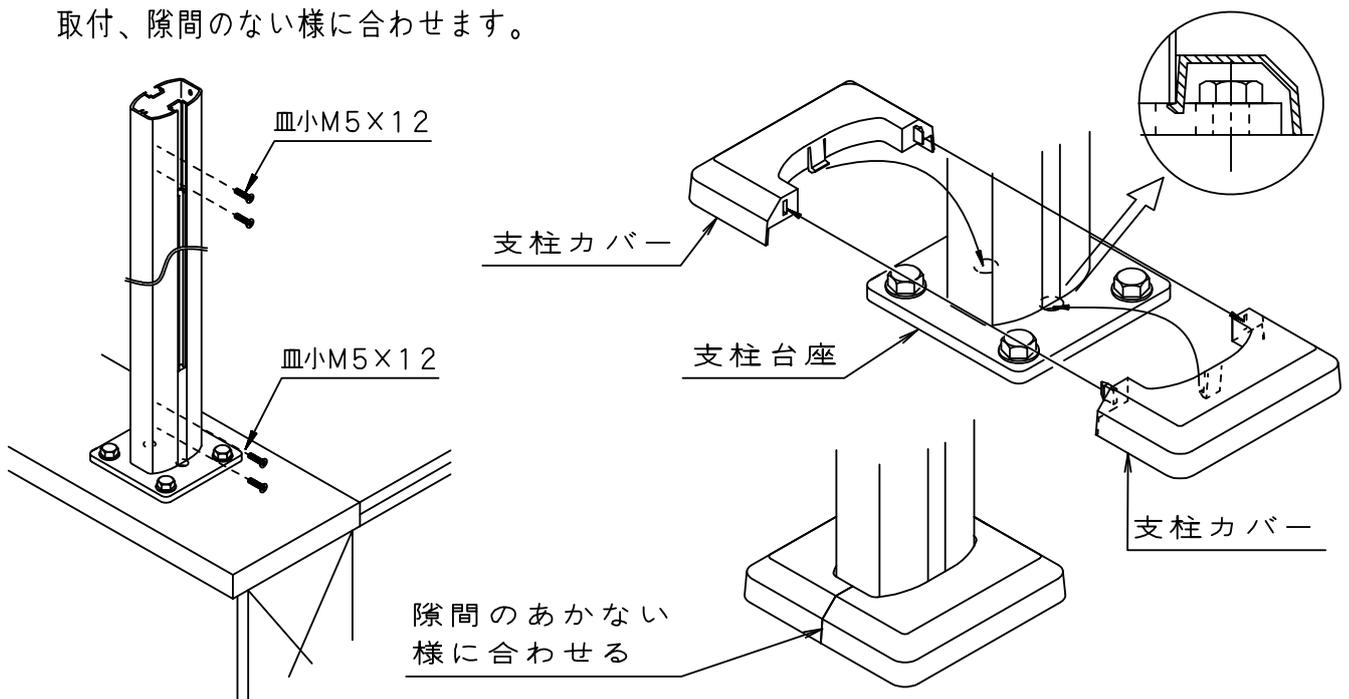
・手摺支柱補強材・台座セットの取付向きに注意して下さい。



3. 支柱を差込み、側面から皿小M5×12で支柱と支柱補強材を固定します。

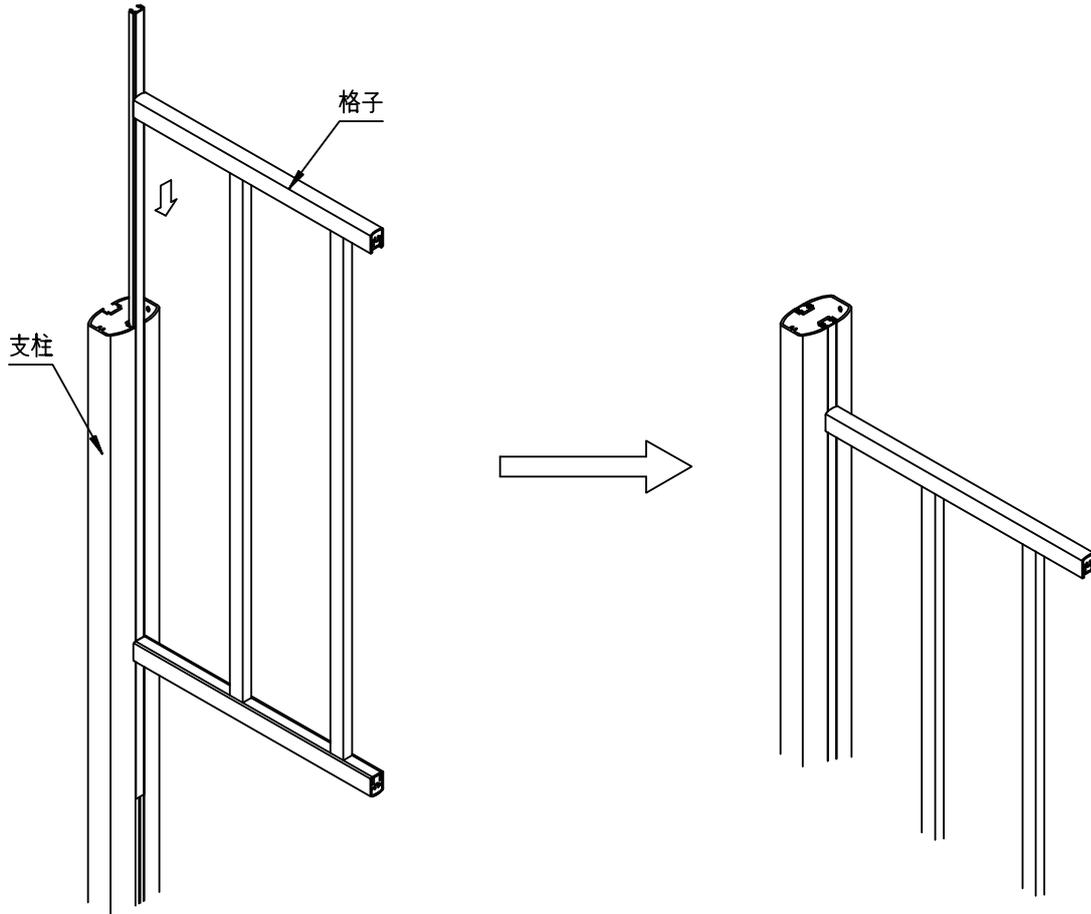
4. 支柱台座に支柱カバーをかぶせます。

※支柱の左右から台座の穴に引っ掛ける様にして支柱カバーを取付、隙間のない様に合わせます。



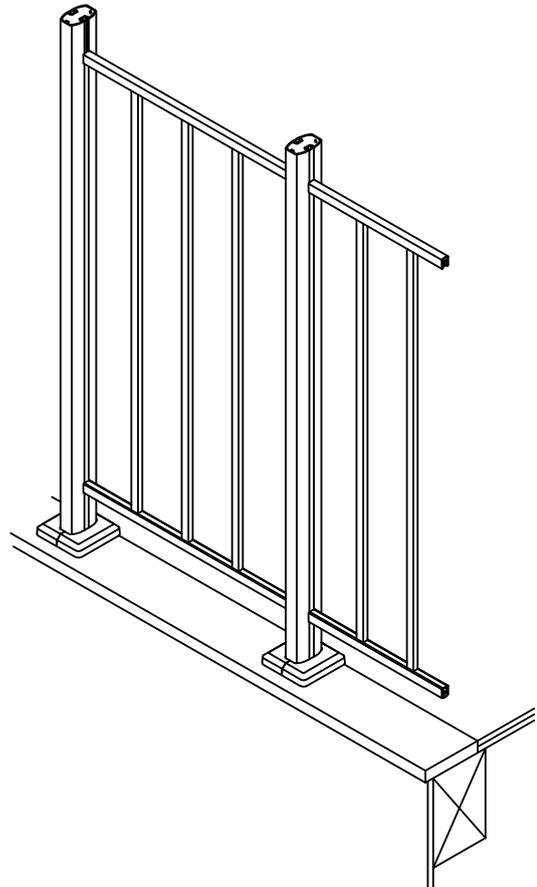
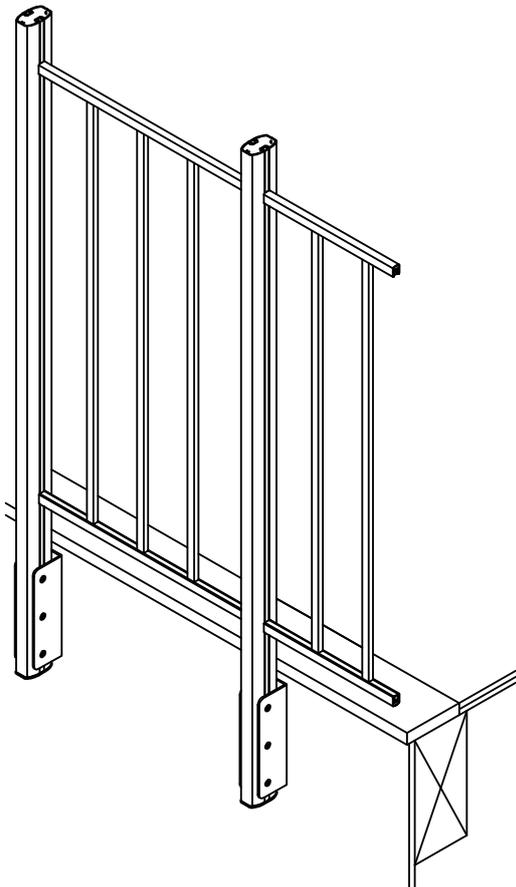
## 5. 格子の取付

1. 格子を支柱に差込みます。



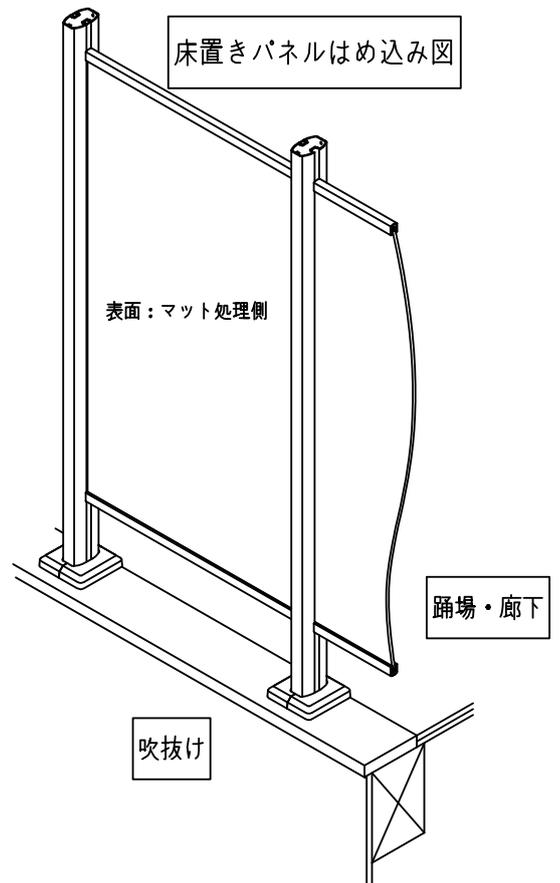
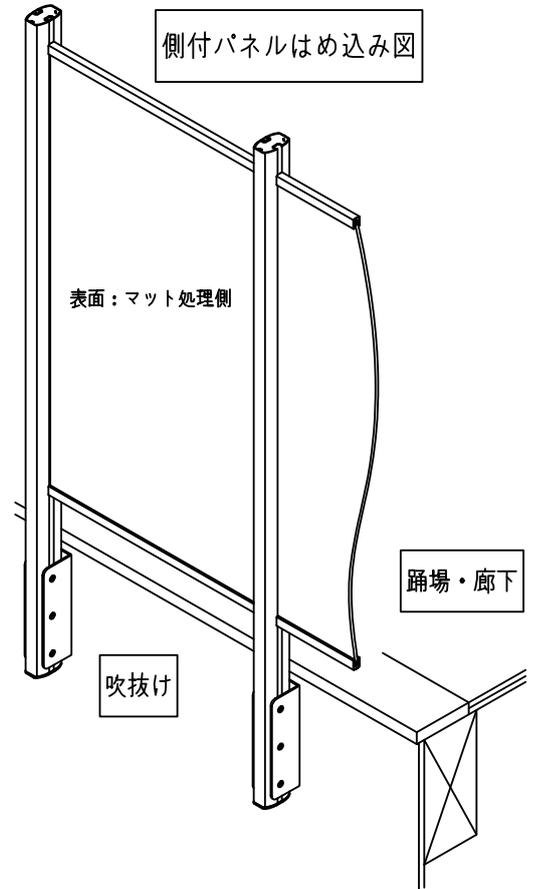
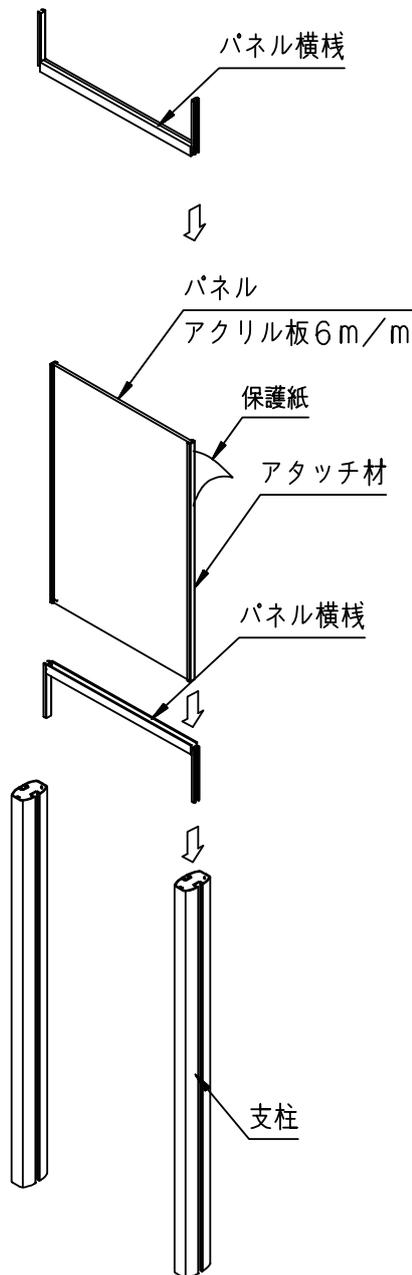
側付格子はめ込み図

床置き格子はめ込み図



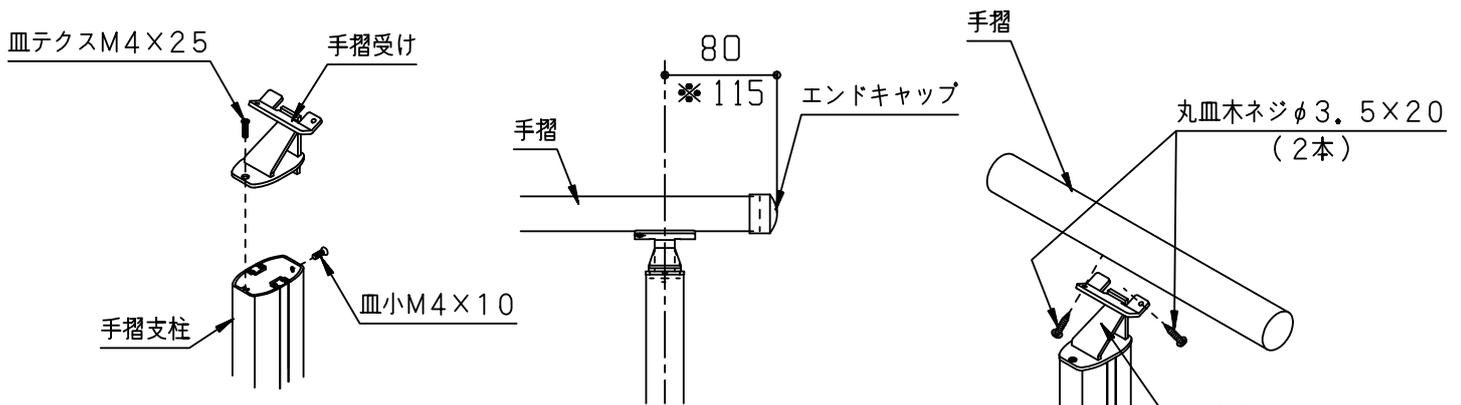
## 6. パネルの取付

1. 支柱にパネル横棧を差込みます。
2. パネルを支柱の溝に差込みます。  
パネルには裏表がありますので注意して下さい。吹抜け側はマット処理（ザラザラ）してあり、踊場・廊下側が未処理（ツルツル）になっています。
3. アタッチ材を支柱に差込みます。



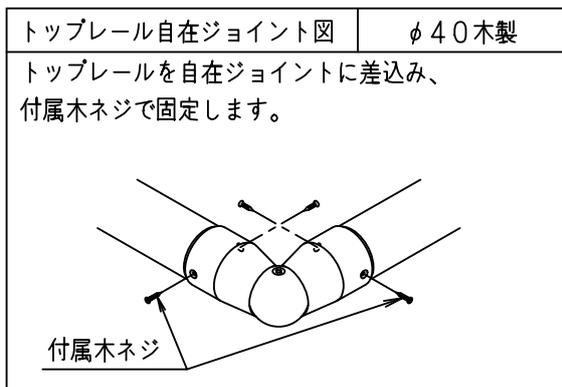
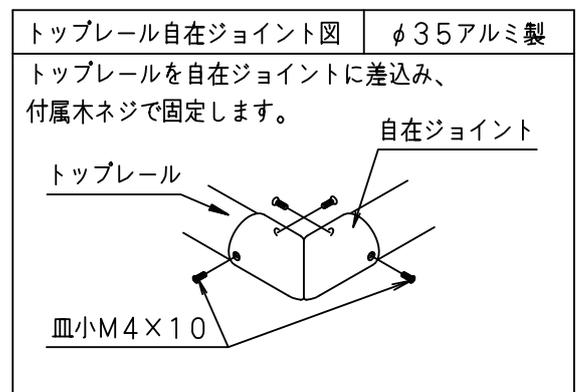
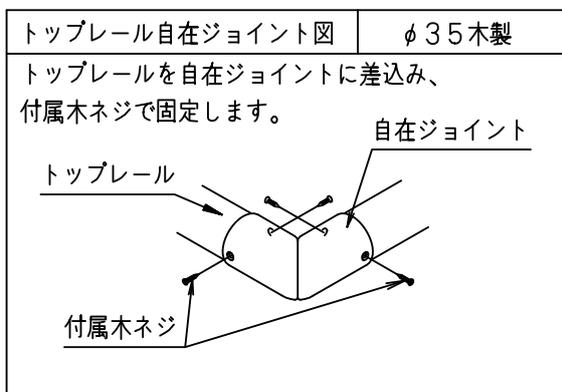
## 7. 手摺の取付

1. 手摺受けを手摺支柱に皿テクスM4×25および皿小M4×10で固定します。
2. 手摺受けが全て取付いた状態で、手摺を乗せます。
3. 手摺の端部接着剤を塗布しエンドキャップをはめ込みます。
4. 手摺の位置は最端部の手摺支柱の芯から手摺エンドキャップ先端まで80mmにします。
5. 位置決定後、手摺受けの取付け用穴から、下穴φ2.8をあけます。
6. 手摺を丸皿木ネジφ3.5×20で固定します。



※床置きタイプのコーナーのみ115となり、  
その他は全て80にて設定して下さい。

※ トップレールにコーナージョイントがある場合

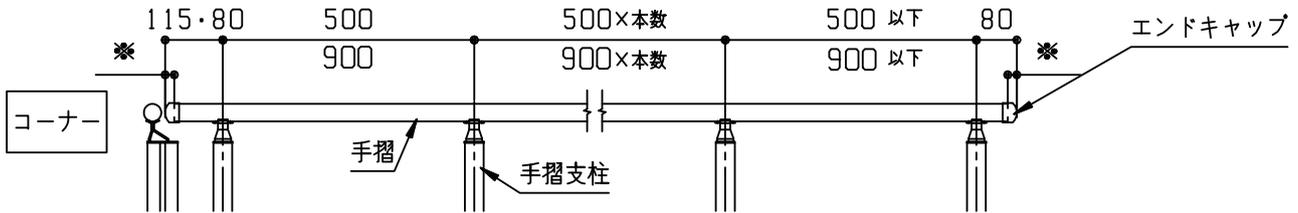


## 8. 現場での材料カット方法

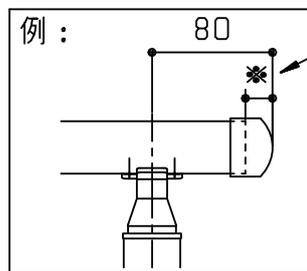
現場で手摺（木）・格子（アルミ）・パネル（アクリル板）・パネル横棧（アルミ）を切断する道具、機器等は、各種類に応じて適切な道具等をご使用下さい。  
また、切断する際の製品側へのキズには十分注意して切断作業を行って下さい。

### ・手摺の切断

1. 手摺支柱ピッチ寸法500又は900に対して壁等の開口寸法に合わせ手摺を切断します。
2. 全体構成図を基に出隅部および壁からの寸法を決定します。



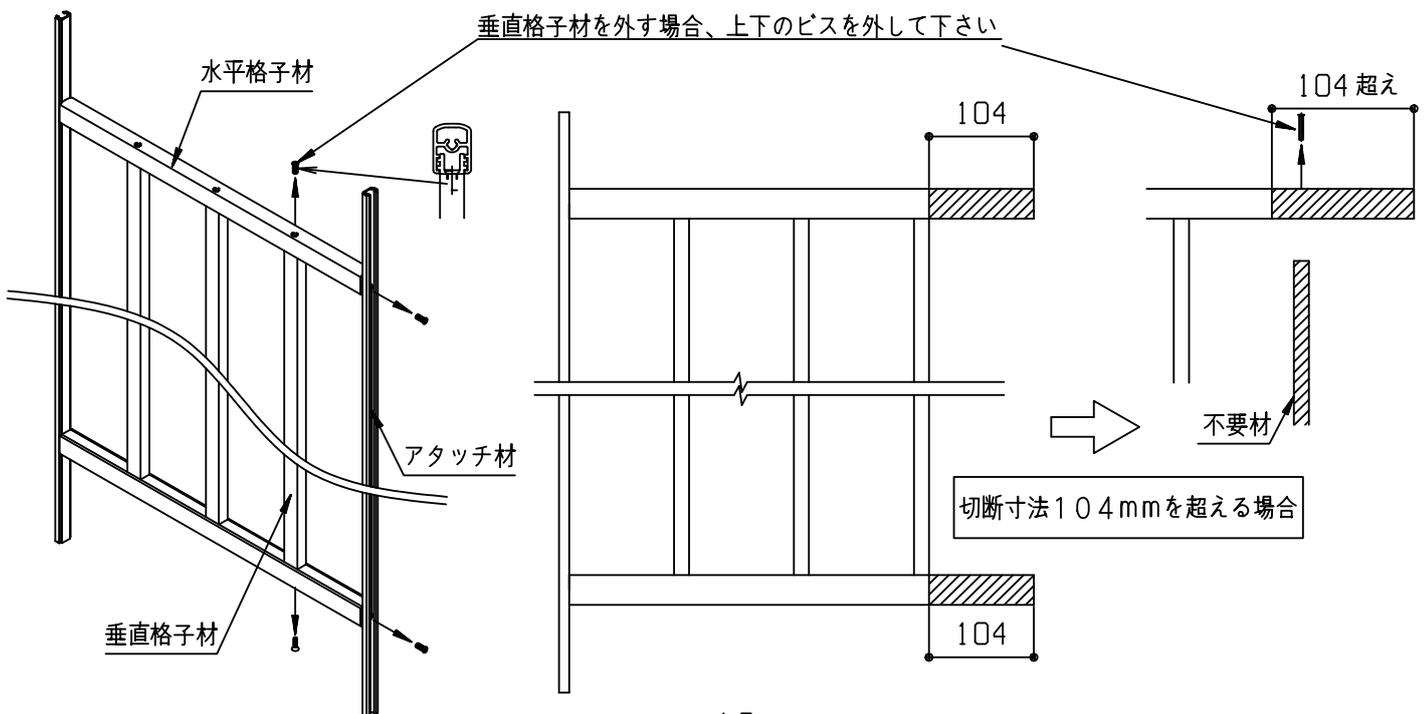
3. 手摺の切断寸法はエンドキャップの先端から\* mmマイナスして切断して下さい。



*	木	製	φ 35	→	18
	木	製	φ 40	→	15
	アルミ	製	φ 35	→	8

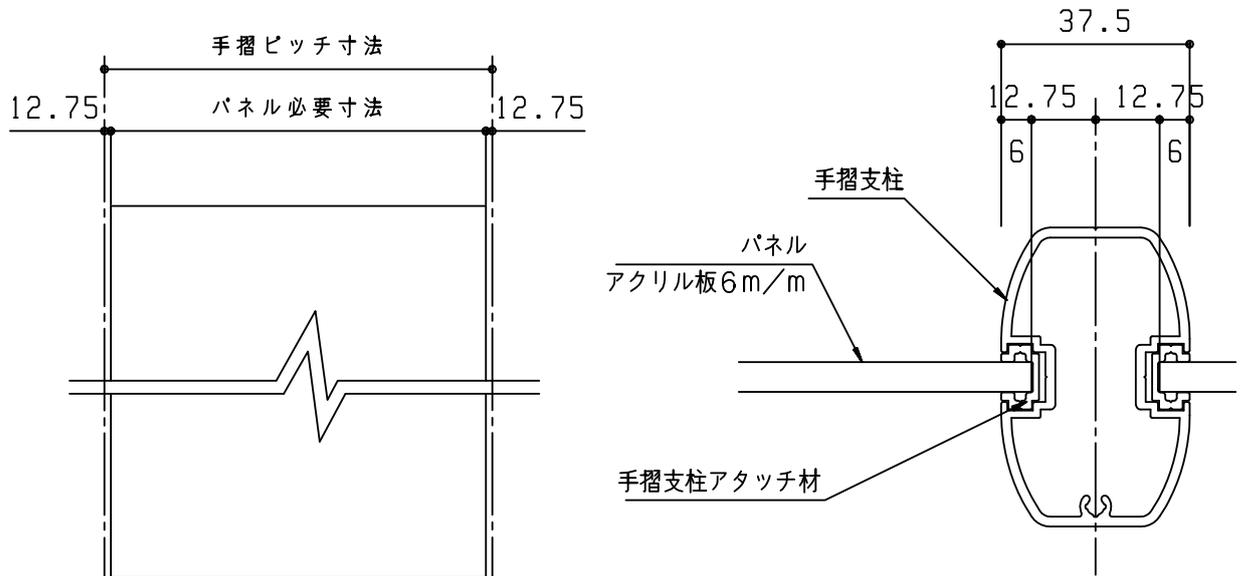
### ・格子の切断

1. 手摺支柱ピッチ寸法500又は900に対して壁等の開口寸法に合わせ手摺を切断します。
2. 前項、手摺同様、全体構成図を基に手摺支柱を設置します。
3. 切断する寸法を決定後、切断する側のアタッチ材を取り外すため2本のビスを外します。
4. 切断する寸法が104 mm以下の場合はそのまま水平格子材を切断します。  
104 mmを超える場合は垂直格子材を取り外し、水平格子材を切断して下さい。
5. 切断完了後、アタッチ材を取り外し前の状態に戻します。



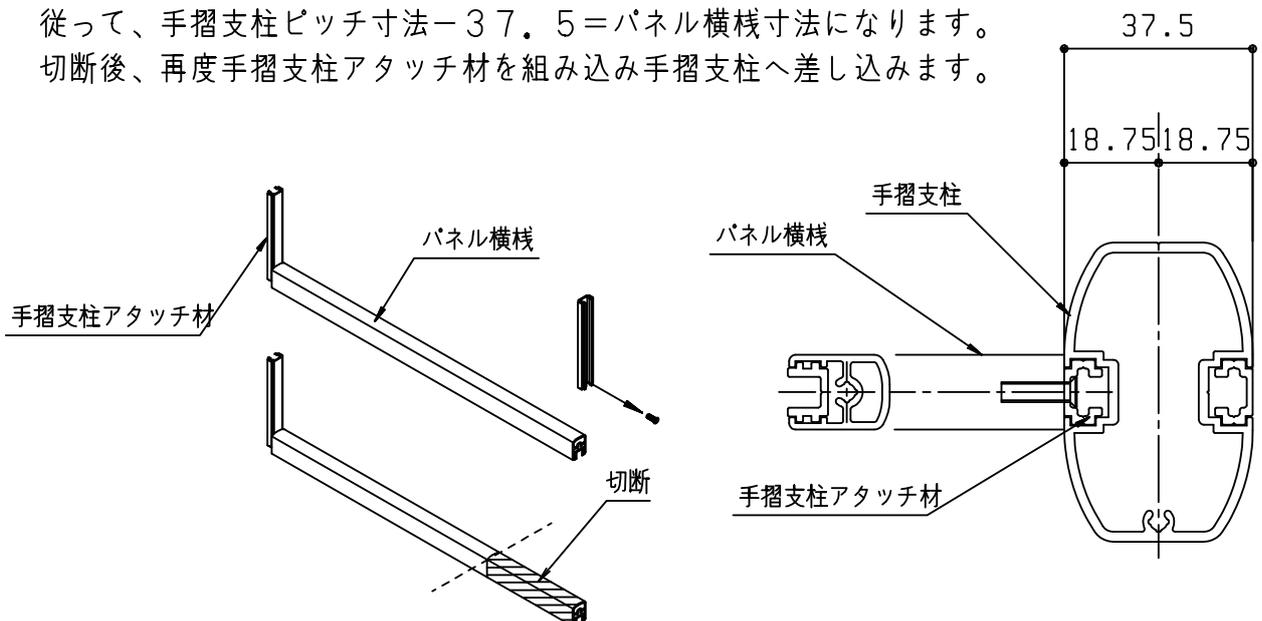
・ パネル（アクリル板）の切断 キズ防止の為、パネルの保護紙を付けたまま切断して下さい。

1. 手摺支柱基本ピッチ寸法＝500又は900に対して壁等の開口寸法に合わせてパネル横棧を切断します。
2. 前項、手摺同様、全体構成図を基に手摺支柱を設置します。
3. 切断する寸法を決定後、パネルを切断します。  
アタッチ材へのパネルの呑み込み寸法は6mmです。  
従って、手摺支柱ピッチ寸法－25.5＝パネル寸法になります。



・ パネル横棧（アルミ）の切断

1. 手摺支柱基本ピッチ寸法＝500又は900に対して壁等の開口寸法に合わせてパネル横棧を切断します。
2. 前項、手摺同様、全体構成図を基に手摺支柱を設置します。
3. 手摺支柱からパネル横棧を、手摺支柱アタッチ材と一緒に抜き取り、パネル横棧と手摺支柱アタッチ材との取付ビスをはずします。
3. 切断する寸法を決定後、パネル横棧を切断します。  
パネル横棧は手摺支柱内々です。  
従って、手摺支柱ピッチ寸法－37.5＝パネル横棧寸法になります。  
切断後、再度手摺支柱アタッチ材を組み込み手摺支柱へ差し込みます。



## 9. アルミ製トップレールの取付 (オプション)

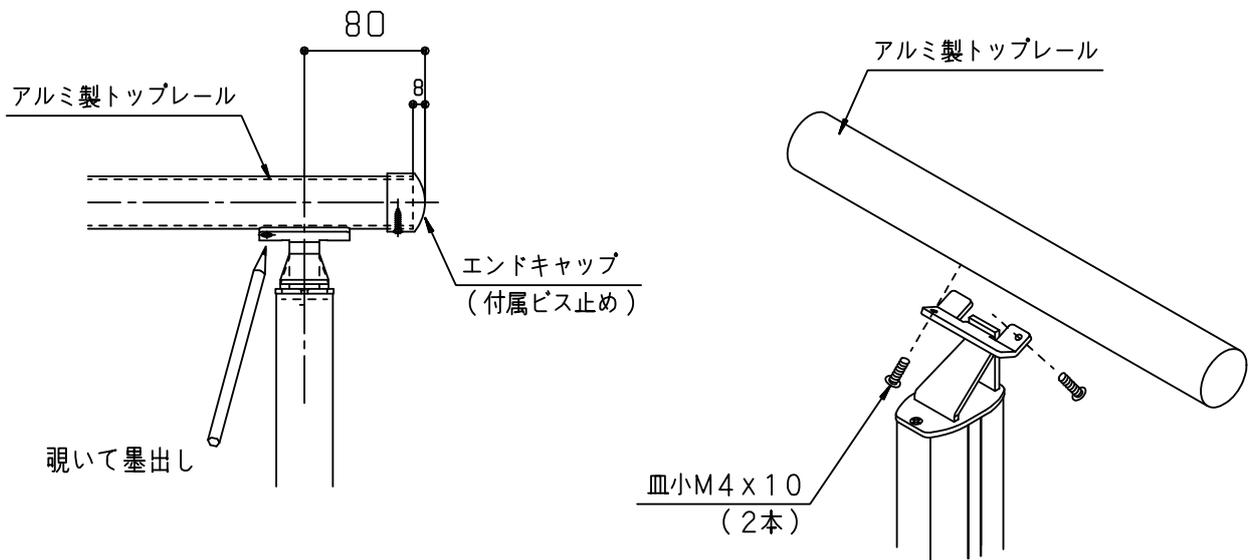
1. トップレールの先端を下図寸法に合わせて乗せて下さい。
2. 下穴 ( $\phi 3.5$ ) は金具から覗いて鉛筆等で墨出しして下さい。
3. 墨出した位置に電動ドリルで、下穴 ( $\phi 3.5$ ) をあけて下さい。
4. 取付ビス (皿小M4×10) は手締めで全部仮止め後、順次本締めとして下さい。

### 注意

- トップレールの固定用ビスは下からの固定のため、止め忘れの無い様、完了後、全ての確認をお願いします。
- 金具等でのキズに十分注意して下さい。

### 使用工具

プラスドライバー #2  
 電動ドリル  
 ドリル刃  $\phi 3.5$



### アルミ製トップレールのジョイント

- ジョイント位置は必ず、トップレール受け中心とし、ジョイント材固定ビス (工場止め) は 下向き に合わせて下さい。

